

ねっとわあく

224
JANUARY



謹賀新年

2013年

CONTENTS

- | | |
|-------------------------------------|-----------------------|
| ●新年のご挨拶..... 2 | ●県消団連活動報告 |
| ●県生協連活動報告 | 第7回幹事会..... 7 |
| ・「事業継続計画策定に向けた学習会」及び | 消費者力検定試験..... 7 |
| 「コープ防災塾わがまち減災MAPシミュレーション研修会」..... 3 | 第42回長野県消費者大会..... 8 |
| ●福島を支援する取り組み報告 | 消費者問題学習会..... 8 |
| ・福島の土壌スクリーニングボランティア..... 4 | ●県生協連役員・会員生協紹介 |
| ・福島の子ども保養プロジェクトスタッフ..... 5 | 太田栄一理事..... 9 |
| ●機関会議報告 | 尾崎洋子理事..... 9 |
| 第7回理事会..... 5 | ●お知らせ |
| ●部会活動報告 | 2012年度下期研修会..... 10 |
| 第2回食堂・売店部会..... 6 | 2013年賀詞交歓会..... 10 |
| 第1回介護福祉部会..... 6 | 長野県協同組合連携研究会..... 10 |
| | ●INFORMATION 10 |



明けましておめでとうございます

各会員生協の役職員の皆様が、組合員のくらしを支え、地域に根ざした活動に日々奮闘されていることに深く敬意を表するものです。

昨年国連が定めた「国際協同組合同年」の年として、県内の各協同組合及び関係する11の団体で「IYC長野県実行委員会」を構成し様々な取り組みを進めました。7月に「シンポジウム」を開催するとともに、9月には、はじめて各協同組合が一堂に会した「協同組合フェスティバル」を開催し12,000人を上回る方々にご来場をいただくことができました。また12月には、信州大学経済学部において「協同組合の現在と未来」と題する連続特別講義も開講することができました。こうした取り組みを通じて県民の皆様幅広く協同組合の存在とその活動を知っていただくことができました。

協同組合は、その原則にもあるように「共通のニーズを自らの事業を通して実現していく組織」です。そして、事業活動をするなかで大きな社会的責任をもちます。ひとつは「社会に悪い影響を与えないこと～最小限にする努力をすること」であり、自然共生・低炭素・循環型社会の実現に向けての取り組みがこれに該当します。もうひとつは「組織の強みを用いて社会の問題の解決に資すること」です。コミュニティへの関与、地域社会づくりなどがこれに該当します。しかし経済的能力には限界がありますし、得意分野と不得意分野があります。だから互いに協同することが必要なのだと思います。

国際協同組合同年にあたり、「協同組合の意義や役割」を広く社会へ発信する、言ってみれば「ソト」に向けた取り組みを進めるなかで、私たちはあらためて「協同することの意義」（協同組合間提携の意義）を内部的にも確認できたのではないかと考えます。

私たちのくらしは、東日本大震災の甚大な自然災害、それにともなう大規模な原子力発電所の事故、そしてグローバル化の進む社会や経済の動向に大きく影響を受けています。人口減と高齢化は進んでいます。家計の状況はより一層厳しくなっており、食品の安全性だけでなく利便性や価格に対しても期待が高まっていることは日生協が実施した「2012年度全国組合員意識調査」でもはっきりと示されています。

過度の市場原理主義が行き詰まるなかで、人と人とのつながりを基本とする「協同組合の存在意義」が今ほど求められていることはありません。その期待に応え、くらしの変化に応え、長野県になくてもならない存在として、今以上に様々な分野・切り口で社会的な貢献を進めていくためには事業と活動の革新を進めていかねばなりません。そのことを念頭に、地域の人々と連携し、各会員生協の組合員・役職員の知恵と力を寄せ合って課題を克服し生協活動の輪を拓けるよう努力していきましょう。

2013年 元旦

長野県生活協同組合連合会
会長理事 上田 均

「事業継続計画（BCP）策定に向けた学習会」及び コープ防災塾 わがまち減災 MAPシミュレーション研修会 を開催しました

日時：11月26日（月）10時00分～15時30分

（1）事業継続計画策定に向けた学習会（10時～12時）

（2）コープ防災塾わがまち減災MAPシミュレーション研修会（13時～15時30分）

場所：ホテル メトロポリタン長野 千曲の間（長野市）

参加：（1）事業継続計画策定に向けた学習会

8 会員生協の役職員と県生協連役職員20名

（2）コープ防災塾わがまち減災MAPシミュレーション研修会

6 会員生協の役職員と県生協連役職員22名

内容：◆「事業継続計画（BCP）策定に向けた学習会」

日本生活協同組合連合会BCP対策室の飯塚保二氏を講師に、災害時の「事業継続計画（BCP）策定に向けた学習会」を開催しました。学習会では、政府の「中央防災会議」の検討状況や「全国BCP2012年度版とBCPの策定」また、「全国生協実態調査概要と今後の課題」について報告され、大規模災害全国生協連携計画に基づき事業継続のために整備すべき10分野（「指揮・連携」「商品調達」「物流」「システム」「事業再開支援」「行政・他団体との協働、広報」「組合員活動」「ボランティア活動」「資金」「日常体制」）についての概要や今後の研究課題、また、これらに基づく実践的な生協の事業継続計画書の作成状況や先進生協の事業継続計画書の紹介がされました。

◆「コープ防災塾わがまち減災MAPシミュレーション研修会」、日本生活協同組合連合会BCP対策室の水島重光氏を講師に、コープ防災塾わがまち減災MAPシミュレーション研修会を開催しました。研修会では、長野市の防災マップの抜粋地図に避難所、病院、助けが必要な家（一人暮らしお年寄りの家や赤ちゃんがいる家）などを想定し地図に書き込みました。そこで、地震が発生したという情報と被害状況が付与され、地図への被害状況の落とし込みや刻々と変わる状況の中で、弱者を助けながら、どの避難所にどのようなルートで避難するのかを考え、避難所に向うルートを考えました。災害を具体的に仮想体験することで「自分で自分の身を守ること（自助）」「共に助け合うこと（共助・公助）」の大切さを学びました。



講師：飯塚保二氏



講師：水島重光氏



土壌スクリーニングボランティアに参加しました

日時：11月12日(月) 13時00分～15日(木) 12時00分

場所：福島県福島市

参加：木下事務局次長

内容：この土壌スクリーニングは、福島大学の支援を受けて、「J A新ふくしま」と「福島県生協連」が共同で行う「汚染マップづくりのための放射能の計測調査活動」として行われております。

初日は、石井秀樹氏（福島大学うつくしまふくしま未来支援センター特任助教）を講師に、「放射能汚染から食と農の再生を」のレクチャーが行われ、また、土壌スクリーニングの計測方法やこの間の実施報告について説明がありました。

計測作業は、1日4チーム（3人1組）で行い、東京電力福島第一原発から約60km福島市の山口という地籍を3日間行いました。放射能計測は、ATOMTEX社製の計測機を使用し、航空写真とGPSを使って計測場所を決定します。計測は水田対策として行われ、取水口、中心部、排水口の3カ所において、セシウム137と134、カリウム40などを計測しました。

計測数値は端末にデータ化され、後日、汚染マップに落とし込まれます。計測数値は場所によって異なっていますが、多くの放射能が飛散したことが伺えます。また、除染作業も所々で行われていました。

最終日には、矢野目モニタリングセンター（放射能検査センター）や福島県全域で行われているお米の全量検査現場（今シーズン36万袋を検査）を視察しました。



レクチャーの様子



計測場所を決定する為の
航空写真とGPS



矢野目モニタリングセンター



朝の打ち合わせ



ATOMTEX社製計測機



お米の全量検査

福島の子ども保養プロジェクトスタッフとして参加しました

日時：11月17日(土) 13時00分～ 18日(日) 12時00分

場所：福島県郡山市（磐梯高原リゾート・イン ぼなり）

参加：小松専務代行と二村事務局員

内容：このプロジェクトは、いまだに放射能汚染の影響から不自由な生活を余儀なくされている子育て世代の家族に低線量地域での短期保養を無償で提供するもので、福島県生協連、福島県ユニセフ協会、福島大学災害復興研究所の主催で行われています。当日は8家族29名と現地スタッフやボランティアの5名を含む34名が参加しました。

両日は、あいにくの雨模様で予定していた「そと遊び」はできず、室内で「パン喰い競争」「ビンゴゲーム」「キッズルームでのおもちゃで遊び」で楽しみました。

夕食会では、参加した保護者一人ひとりから、普段は外で遊べないことやストレスの中で頑張ってきたことなどが語られ、継続的な支援の必要性を感じました。参加したことで現地の様子を知り、これからも継続した支援を行いたいと思いました。



機関会議報告

第7回理事会を開催しました

日時：12月18日(火) 12時55分～14時55分

場所：ホテル メトロポリタン長野 3階 黒姫の間（長野市）

出席：13名（理事11名：監事2名）

内容：以下の案件について審議を行い、承認しました。

- (1) 2013年賀詞交歓会の開催計画
- (2) 第62回通常総会までの運営スケジュールと2013年度方針の考え方
- (3) 2013年度会費額の決定
- (4) 2012国際協同組合同年長野県実行委員会関連
 - ① 長野県実行委員会規約の一部変更
 - ② 信州大学経済学部特別講義（公開講座）の対応
 - ③ 長野県協同組合連携研究会の開催
 - ④ 長野県実行委員会の今後の対応
- (5) 2012年度マスコミ懇談会の中止
- (6) 2012年度県生協連役員OB会総会の開催計画



続いて、第6回理事会以降の機関会議、活動報告や行政・他団体から提供された情報を報告し、すべて承認されました。

※11月20日に第8回常任理事会、12月18日第9回常任理事会を開催し、第7回理事会の審議事項等の検討を行いました。